

人の第一印象 ～メラビアンの法則～

熊本県立熊本北高等学校
数理探究 社会科学①班

1. 研究の動機

入試時の面接などの際には誰もが規律正しい服装や髪型、言葉遣いなどを意識して挑む。しかし誰でも失敗することがあるし、それが大事な面接時かもしれない。しかし面接官は書類、態度、外見など見て約3～5分間で相手の第一印象を決めてしまうという(林,2006,p.56)。そんな中でどのような振る舞いを行なったら相手に悪い印象を持たせないのか調べてみたいと思ったから。

2. 研究の仮説

やっても良い失敗と絶対にやってはいけない失敗があると思うからそのメリハリをつけることで少しでも印象を悪くさせないと思う。

3. 実験方法

- 1.メラビアンの法則である視覚・聴覚・言語の3つの情報について(kaonavi,2022)アンケートを行い(熊本北高校39期生11名)、一番良い印象と悪い印象を決める。
- 2.それぞれの印象で一番良かった印象と悪かった印象を組み合わせる。
- 3.実験2で行った組み合わせの中で印象が悪く見えにくいもの、最も悪いものを決める。

4. 結果

- 1.最も良い印象
視覚情報…笑顔、背筋が伸びている、試験監督者の目を見る
聴覚情報…声の大きさ 教室に聞こえるくらい
の大きさ、話す速さ 60秒で300文字
言語情報…難しい言葉を使用する(齟齬など)
最も悪い印象
視覚情報…変顔、足を組む、下向き
聴覚情報…コソコソと話すときの大きさ、50秒で300文字
言語情報…簡単な言葉を使用する(食い違いなど、良い印象と比較)
- 2.①笑顔×足を組む
②背筋が伸びている×コソコソと話すときの大きさ
③試験監督者の目を見る×足を組む

④教室に聞こえるくらい
の大きさ×下向き(今回は聴覚情報である話す速さと言語情報は根拠となる音源や資料がないため省略)(一部抜粋して組み合わせ)

3.印象が最も悪く見えにくい組み合わせは④
また、印象を最も悪く見えさせてしまう組み合わせは③

5. 考察

入試時や就職時の面接等のときに①から④のような失敗をしていた際に④の教室に聞こえるくらい
の大きさ×下向きの組み合わせが失敗に気づく前
のなかで最も印象が悪く見えにくいと考える。

6. 今後の課題と展望

本研究ではメラビアンの法則をもとに実験を行っていったが、人の第一印象を決める上で関係してくる要素は多くそれらすべてを考慮することはできなかった。今後の展望として第一印象を構成する他の要素を本研究と交えながら追求していきたい。また、今回アンケートを実施する中で十分なデータを得ることができなかった。今後の展望としてはよりデータを集め、正確な結果を得られるようにしていきたい。

7. 参考文献

- kaonavi.メラビアンの法則とは？【例をわかりやすく】第一印象.タレントマネジメントのカオナビ.2022-07-20.
<https://www.kaonavi.jp/dictionary/melabians-law/>,(参照2022-11-16)
林伸二.第一印象の形成.青山経営論集第40巻第4号.2006-03.
<https://www.agulin.aoyama.ac.jp/mmd/library01/B/D81084382/Body/link/ab40084382.pdf>,(参照2023-01-11)